

児童一人一人が生き活きと輝くために

校長 清水 健治

新型コロナウイルス感染症が全世界に猛威を振るい、本市におきましても、5月6日までとしていた臨時休業の措置を子どもたちの安全と健康を最優先に考え、5月31日まで期間を延長することになりました。

休校期間が長く続き、子どもたちの心身の健康状態が一番の心配ではありますが、特に懸念される点として、①学習保障、②精神衛生、③健康管理などが挙げられます。

①学習保障面において本校では、4・5月の2ヶ月がすでに休業期間となり、学校再開後の授業時数を鑑み、この休業期間に児童に身につけさせたいことを選び抜き、学校再開後の授業の中で各自が身につけたことを活かした学習展開を考えております。課題に対して主体的に取り組ませてください。わからないところやうまくできない課題もあると思います。学校再開後の学習の中で定着させていきますので、「ここまではわかった（できた）けれど、ここから先がよくわからない。」という学びをさせてください。

学校再開後は、一時間一時間の授業を大切にし、ねらいを明確にした質の高い授業を本校教師は目指していきます。また、これまで「朝自習」として位置付けていた時間を「朝学習」として授業を行い、週4日（月・水・木・金）の朝各12分間を国語・算数の授業時数として累積していきます。さらに、7・8月の夏季休業中に行っていたステップアップ教室、サマースクールを充実させて学習の保障を図っていきます。今後の感染状況、休業期間措置等の状況を考慮しながら対応策を構築していく所存です。

②精神衛生面においては、現在、家庭への電話連絡を各担任が定期的に行っています。その際、保護者の方からご家庭での児童の状況を聞くとともに、児童と直接話す場を設けさせてもらっています。4月8日の登校日には、担任と児童が接する機会はほとんどなかったもので、現在は電話を使ってですが、対話を行うようにしています。今後の状況によっては、児童が時差登校等で学校に来られるようになれば、直接対話を通して相互理解を図っていきたいと思っています。

学校再開後は、教育相談室・スクールカウンセラーなどとも深く連携しながら、児童の心のケアに努めていきたいと思っております。また、偏見や差別、いじめ、不登校、非行問題行動等が起きないよう、家庭とも連携しながら指導していきます。休業が長く続き、子どもたちもストレスが溜まってご家庭でも対応が難しい場面も多くあると思いますが、児童虐待などの事例にならぬよう、お困りの点は学校にご相談ください。

③健康管理面においては、今は外で自由に遊ぶことができず、多くの友達ともおしゃべりできず、心身ともに苦痛を感じている子どもたちの姿が目につかびます。また、昼夜逆転、ゲーム依存などの基本的な生活習慣の乱れも考えられます。新型コロナウイルスに立ち向かうためには心身ともにたくましい体が大事であり、免疫力を高めるためにも、栄養のある食事、十分な睡眠、規則正しい生活が大切になります。お子さんの健康状態の維持管理をこまめにお願いたします。

学校再開後も、毎日ご家庭で体温測定・健康状況を記していただいている「健康観察カード」及び児童観察等をもとに、児童の健康状態の把握に努めるとともに、学習形態・学習活動等には十分配慮しながら各教科等の学習を展開していく予定でいます。また、今年度は学校行事等の精選を図っていきますので、児童には大変残念なことではありますが、例年行っている行事も今年度は延期、中止、規模縮小等の措置をとる場合も多く出てきますので、ご理解ください。

学校再開を本校教職員一同、心待ちにしています。子どもたちに笑顔で出会える日を皆楽しみにしています。学校の主役である子どもたち一人一人が、学校生活の中で笑顔いっぱい、元気いっぱい、生き活きと活動・活躍し、確かな学力と豊かでたくましい心と体を育むことができるよう、様々な視点から児童の健康・安全について十分配慮しながら教育活動を進めていく考えでおります。上南っ子一人一人が、これまで経験したことのないこの経験をもとに、人としての「つよさ」そして「やさしさ」を身につけたすてきな人に成長していくことを心から願っています。